

ひととき通信



平成 30 年 10 月 10 日

はじめに

当院では、ご家族の不安を少しでも軽減し精神疾患等の理解を深める機会として、ご家族様を対象に毎回テーマに沿った家族教室を開催しています。今回は熊本看護部長に「**関わり方**」というテーマで、お話をさせていただきました。

ご本人への関わり方の知識を身につけることで最も身近な存在であるご家族との関係性が良好なものになればと思います、内容について少しご紹介したいと思います。

あいつちを打ちながら話を聞く

・患者さんの思い込み、妄想の背景には強い不安感があります。あいつちを打ちながら受け止め、共感することが大切です。

心配のし過ぎ

- ・「病気は私の接し方、育て方が悪かったせいだ」との様に、患者さんに一方的な負い目を感じていると良い関係性を築くのは難しくなってしまいます。
- ・「この人はダメなのだから私が頑張らなくては」との様に守る気持ちからであっても患者さんは「頼りにされていない」「一人前とみなされていない」と感じさせてしまいます。

→「私は～」という伝え方が大切。

例：「あなたが～してくれると、わたしはうれしい」と具体的に伝える。そうすると相手を責める言葉が少なくなり、お互いが冷静になれます。

参加した家族のご感想

- ・わかりやすい内容でよく理解できた
- ・本人にとって最も多くの時間を接している看護師より具体的な話を聞くことができて良かった。
- ・公演の途中にロールプレイなどもあり、あいつちの大切さが実感できた。

次回の家族教室は… 「体験談と茶話会」です。

11月10日(土) 13:00~14:30

詳しくは外来等に置いてあります「家族教室について」のチラシをご覧ください。

皆様のご参加をお待ちしています。



「ひととき」とは… 北駐車場の一角にある患者様の憩いの場です。面会の時に是非ご利用ください。